



この年次報告書は、安城市環境基本条例第7条に基づき、平成24年度における安城市の環境に関する施策の概要について取りまとめ、公表するものです。

平成25年度版
安城市環境報告書
(環境報告書 年次報告)

〈発行〉安城市
〈編集〉環境部環境首都推進課
〒446-8501 愛知県安城市桜町18-23 (☎0566(71)2206 / FAX0566(76)1112(代))
<http://www.city.anjo.aichi.jp/>



安城市



目次	
安城市環境基本計画の体系 ……	2
1. 都市基盤・交通 ……	3
(1)都市と自然 ……	3
(2)都市・交通システム ……	5
2. 農業・産業 ……	6
(1)農業 ……	6
(2)産業活動 ……	6
3. ライフスタイル ……	7
(1)くらしの省エネルギー ……	7
(2)家庭のごみ ……	8
(3)健全な生活環境 ……	9
(4)環境意識と協働 ……	9
4. 地球環境 ……	10
安城市環境マネジメントシステム部門別実行計画より ……	11



市民とともに育む環境首都・安城

私たちのまち安城市は、きれいな水と豊かな自然に恵まれ、人情あふれるまちとして歴史を刻んできました。この環境を守り大切にし、より良い環境を次の世代に引き継ぐことは私たちの責務であり、市民、事業者、市が手を取りあって取り組んでいかなければなりません。

市民一人ひとりが地球的な視点に立ち、省資源・省エネルギー・リサイクルなどを実践していくことにより環境への負荷を軽減するとともに、人間と環境のかかわりについての理解を深め、身近なところから着実に行動していくことが大切です。市においても、あらゆる施策に環境の視点を取り入れることにより「つくる」から「いかして使う」へ発想を転換し、自然環境のみならず人の暮らしを取り巻く人間環境についてもよりよいものを市民と協働で築き上げていきます。

そして、これまでに培ってきた歴史や文化など安城市の環境資源を最大限に活用し、安城市の特色を生かした個性あるまちづくりをめざします。



安城市環境基本計画の体系

安城市環境基本計画は、「安城市総合計画」を環境面から補完する計画として位置づけられています。

本市では、平成13年3月に環境基本計画を策定し、平成32年度を目標年次とした長期計画となっています。社会情勢の変化などに適合させるため、5年を目処に定期的な見直しを行うこととしており、平成23年3月に2回目の改定を行いました。めざす都市像を「安城市総合計画」同様、「市民とともに育む環境首都・安城」とし、「都市基盤・交通」、「農業・産業」、「ライフスタイル」、「地球環境」の体系で施策の整理をしています。

都市基盤・交通

(1) 都市と自然

- ①豊かな緑の確保
- ②健全な水環境の確保
- ③多様な生態系の保全

(2) 都市・交通システム

- ①自動車利用からの転換
- ②環境負荷の少ない都市づくり

農業・産業

(1) 農業

- ①農と環境との調和

(2) 産業活動

- ①事業者の取組み支援
- ②公害の防止と廃棄物の減量

ライフスタイル

(1) 暮らしの省エネルギー

- ①家庭における省エネルギー行動の促進
- ②移動における省エネルギー行動の促進
- ③建築物の省エネルギー化の促進
- ④新エネルギーの利用

(2) 家庭のごみ

- ①ごみ減量の推進
- ②適正な廃棄物処理

(3) 健全な生活環境

- ①良好な生活環境の形成
- ②生活型公害の防止

(4) 環境意識と協働

- ①環境学習の推進
- ②環境行動力の向上

地球環境

(1) 暮らしの低炭素化

(2) 産業活動の低炭素化

(3) 交通・物流の低炭素化

(4) ごみ処理の低炭素化

1. 都市基盤・交通



(1) 都市と自然

- ① 豊かな緑の確保
- ② 健全な水環境の確保
- ③ 多様な生態系の保全

(2) 都市・交通システム

- ① 自動車利用からの転換
- ② 環境負荷の少ない都市づくり

環境指標の進捗状況

環境指標 1 樹高が3m以上になる木の本数

基準値 (平成21年度)	実績値 (平成24年度)	目標値 (平成27年度)
131,000本	136,786本	140,000本

環境指標 2 セミのぬけがらの確認数

参考値 (平成14年度)	実績値 (平成24年度)	目標値 (平成27年度)
14,353個	14,478個	20,000個

環境指標 3 公共交通機関についての満足度

現状値 (平成21年度)	実績値 (平成24年度)	目標値 (平成27年度)
56.1%	56.8%	60.0%



(1) 都市と自然

① 豊かな緑の確保

植樹祭の開催・緑化木の配布

荒曽根公園と桜井中央公園、池浦西公園で植樹祭を開催しました。そのほか、堀内公園で、ブルーベリーとスモモ、ライラックの苗木を配布しました。

ガーデニング・みどりのカーテン・オープンガーデンコンテスト

ガーデニング部門30件、みどりのカーテン部門20件、オープンガーデン部門12件の応募がありました。



植樹祭参加者

桜井中央公園	荒曽根公園	池浦西公園
195人	135人	145人

緑化木の配布(堀内公園)

ブルーベリー	スモモ	ライラック
200本	100本	100本

② 健全な水環境の確保

矢作川水源の森分収育林事業

安城市と根羽村は、平成3年に、森林法に基づいた森林整備協定を締結しました。平成33年までの30年間、矢作川の水源にあたる根羽村の森林を共同経営していきます。

5月には、安城市民が、根羽村で行われた植樹祭に参加しました。



根羽村植樹祭

水田貯留

水害に強いまちづくりへの取組みの一つに、水田貯留事業があります。これは「雨を速やかに流す」のではなく、「雨を貯める、浸透させる」という考え方に基づいたものです。水田に雨をもう少しだけ余分に貯めることで、洪水被害を軽減させることができるのです。

平成24年度は、西鹿乗川・郷東川流域の北山崎町地内と、勢井前川流域の安城町地内で、効率的に水田貯留を行うための場所の選定をしました。また、志茂川流域の小川町地内では、流量調整柵を設置しました。



流量調整柵

下水道整備と接続の促進

市内の公共下水道は、愛知県が事業主体である「矢作川・境川流域下水道」に接続する流域関連公共下水道として発足し、処理区は3つ(矢作川・境川・衣浦東部処理区)に分かれています。

公共下水道は、平成5年4月の矢作川処理区の供用開始から、平成8年度には境川処理区、平成10年度には衣浦東部処理区の供用を開始し、順次供用地区を拡大しています。

平成24年度は3処理区で新たに52haの区域で下水道が使えるようになりました。平成25年3月31日現在、行政人口182,913人に対し、処理区域内人口は136,646人となり、人口普及率74.7%、水洗化人口は119,337人と着実に増加しています。

(参考：下表「下水道普及率の変遷」)

浄化槽設置補助金制度

高度処理型合併処理浄化槽の設置に対し、補助金を交付しました。

(平成24年度実績値は、下表「浄化槽設置補助金平成24年度実績」参照)

多自然川づくり

河川は、多くの生物の生息空間。治水上の安全性を確保しながら、生物の生息環境をできるだけ変えないような、良好な河川環境の保全が必要です。

平成24年度は、安城市東部を流れる郷東川において、約40mの区間の多自然川づくりを行いました。施工にあたっては、河川の多様な環境を保全し、復元しやすくするため、堤防の法勾配を緩やかにして芝生で覆っています。水際の護岸については、環境クリーンセンターの焼却灰から作られた熔融スラグを使用することで、空隙を確保し、生物の生息・生育場所や植生基盤となるよう配慮しました。また、万五郎橋の改築では、橋の側面を木目調にすることで景観に配慮しました。



万五郎橋

下水道普及率の変遷

年	普及率
平成10年	19.9%
平成15年	46.5%
平成20年	64.2%
平成25年	74.7%

数値はいずれの年も3月31日現在。

浄化槽設置補助金平成24年度実績

区分	補助金額	基数
5人槽	255,000円	72基
6～7人槽	285,000円	69基
8～9人槽	345,000円	7基
11人槽～	600,000円	0基
合計		148基

③ 多様な生態系の保全

セミのぬけがら調査

7月1日から8月31日までの間、秋葉いこいの広場環境学習センターに、セミのぬけがらを持参してもらいました。集まったぬけがらは、14,478個。平成14年度に実施した調査と比較すると、クマゼミの割合が大幅に増えました。クマゼミが増えた理由として、「地球温暖化」「ヒートアイランド現象」「クマゼミが好むケヤキなどの樹木の増加」「踏み固められた都市の地面でも、力強く穴を掘ることができる」などの説があり、市内でこうした環境条件が進展していると考えられます。

(詳細は、下表「セミのぬけがら平成24年調査結果」参照)

(2) 都市・交通システム

① 自動車利用からの転換

あんくるバスの運行

平成24年度は、利用促進についての啓発を引き続き行ったことや、年末年始(12月29日～1月3日)における試験的な運行などを行ったため、利用者の増加が見られました。また、市内の公共交通不便地域解消と新たな移動手段の確保の検証を目的として、11月から1年間、あんくるバスに接続する予約式乗合タクシーの実証実験運行を、市内3地区で実施しています。

(参考：下表「あんくるバス乗降客数の推移」)



安城駅前のあんくるバスバス停

自転車購入費補助金制度

一定の条件を満たした場合に、自転車購入費の一部を補助しています。平成24年度は、115件の補助申請がありました。

(参考：下表「平成24年度自転車購入費補助金内訳」)

Anjo Cycle Festa ツールドじゅんぽう輪

自転車の楽しさや利便性を知ってもらうこと、健康増進につながるサイクリングを実感してもらうことを目的としたサイクリングイベント「Anjo Cycle Festa ツールドじゅんぽう輪」を開催。市内外から994人の参加がありました。



ツールドじゅんぽう輪

セミのぬけがら平成24年調査結果

種類	数	割合
クマゼミ	6,970個	48.1%(19.1%)
アブラゼミ	6,907個	47.7%(78.6%)
ニイニイゼミ	341個	2.4%(0.8%)
ツクツクボウシ	108個	0.8%(1.5%)
その他・不明	152個	1%
計	14,478個	100%

()内は平成14年度の調査結果

平成24年度自転車購入費補助金内訳

種類		件数
幼児 2 人同乗用	普通自転車	65
	電動アシスト自転車	8
シニア向け	普通自転車	21
	電動アシスト自転車	17
電動アシスト自転車(自動車通勤からの変更の場合)		4
計		115

あんくるバス乗降客数の推移(単位：人)

路線／年度	21	22	23	24
市街地線	32,257	31,085	32,181	33,594
桜井線	40,356	38,977	44,115	47,319
南部線	37,758	41,299	44,158	45,756
高棚線	25,458	25,811	28,447	33,759
東部線	36,587	28,028	29,997	30,664
西部線	39,149	42,869	46,670	46,963
北部線	24,203	22,759	22,883	24,687
作野線	17,266	40,669	44,332	47,807
桜井西線	12,404	29,816	31,150	32,395
循環線	23,604	58,555	69,783	72,785
計	289,042	359,868	393,716	415,729

2. 農業・産業

(1) 農業

① 農と環境との調和

(2) 産業活動

- ① 事業者の取組み支援
- ② 公害の防止と廃棄物の減量

環境指標の進捗状況

環境指標 4 食料自給率(カロリーベース)

基準値 (平成20年度)	実績値 (平成23年度)	目標値 (平成27年度)
33.4%	33.5%	35.2%

(1) 農業

① 農と環境との調和

アグリライフ支援センター

「農」ある暮らしを実践する人材育成の場として、アグリライフ支援センターを運営しています。年2回の野菜づくり入門コースと各種体験・スポット講座などを実施しました。

ふれあい田んぼアートの支援

田んぼに、さまざまな色の稲を植えて、絵を描くイベント「ふれあい田んぼアート」を支援しました。農業体験を通じて農業の大切さを感じてもらうことで、生物多様性の場である農地の保全につながります。

地産地消の啓発

「安城サックスフェスティバル」などのイベントで、安城産の米を使った「ポン菓子」を無料配布し、地産地消や旬産旬消を啓発しました。

まちなか産直市の支援

農村生活アドバイザーが中心となり開催している「まちなか産直市」を支援し、地産地消を推進しました。

(2) 産業活動

① 事業者の取組み支援

I S O14001更新審査の支援

I S O規格の更新を行う中小企業に更新審査の費用の一部を補助しました。その中でも、環境に配慮した事業活動を行うための基準を規格したI S O14001の更新に対し、11件を補助しました。

② 公害の防止と廃棄物の減量

環境保全講習会の開催

市内企業を対象に環境保全講習会を開催し、環境情報の共有を図りました。環境関連の法令の概要や改正内容などを説明しました。

事業系一般廃棄物の分別指導

環境クリーンセンターに持ち込まれる事業系一般廃棄物の搬入物検査を行い、分別徹底によるごみの減量化を図りました。



アグリライフ支援センター平成24年度実績

体験・講座名	
野菜づくり入門コース	30人
とうもろこし収穫体験	40人
ミニトマトプランター植付体験	22組61人
サツマイモ植付・収穫体験	30組87人
プランター野菜栽培体験	16組27人
秋ジャガ植付・収穫体験	20組71人
親子プランターいちご栽培体験	22組57人



3. ライフスタイル



(1) 暮らしの省エネルギー

- ① 家庭における省エネルギー行動の促進
- ② 移動における省エネルギー行動の促進
- ③ 建築物の省エネルギー化の促進
- ④ 新エネルギーの利用

(2) 家庭のごみ

- ① ごみ減量の推進
- ② 適正な廃棄物処理

(3) 健全な生活環境

- ① 良好な生活環境の形成
- ② 生活型公害の防止

(4) 環境意識と協働

- ① 環境学習の推進
- ② 環境行動力の向上

環境指標の進捗状況

環境指標 5 太陽光発電システムの普及世帯割合

現状値 (平成21年度)	実績値 (平成24年度)	目標値 (平成27年度)
1.6%	4.0%	6.0%

環境指標 6 1人1日あたりの家庭系ごみ排出量

現状値 (平成21年度)	実績値 (平成24年度)	目標値 (平成27年度)
508 g	499 g	428 g

※燃やせるごみ、燃やせないごみ、粗大ごみの合計。

(1) 暮らしの省エネルギー

① 家庭における省エネルギー行動の促進

うちエコ診断事業

各家庭の状況に応じた形で、省エネにつながる具体的な提案を対面方式で行う省エネ診断(うちエコ診断)事業を実施しました。

③ 建築物の省エネルギー化の促進

エコタウン桜井

平成22年度に整備された「エコタウン桜井」で、環境配慮型の住宅仕様や設備の普及を図りました。

壁面緑化・ベランダ緑化

市役所本庁舎にネットを設置し、壁面緑化とベランダ緑化を実施しました。

エコタウン桜井入居者へのアンケート

Q	A
住み心地はどうでしたか？	夏は床下から流れる冷たい空気で室内が涼しく、エアコンはほとんど使いませんでした。冬は蓄熱層から放射される熱でとても温かく、エアコンは朝と夜しかつけていません。蓄熱層の温度調整ができるともっと良いと思います。
新しく建てる家には、どんな環境設備や環境への工夫を取り入れたと考えていますか？	雨水タンクとペアガラスが良いと思いました。太陽光パネルや、植栽、エコキュートの設置、自転車置き場への工夫を考えています。また緑化についても緑のカーテンなどで工夫することを考えています。
以前の家と比べて電気代は減りましたか？	電気代もガス代も安くなりました。

④ 新エネルギーの利用

太陽光・太陽熱利用機器補助金制度

- 住宅用の太陽光発電システムや太陽熱高度利用システム、太陽熱温水器の設置に対し、補助金を交付しました。
- 太陽光発電システム設置費補助金制度：1 kWあたり40,000円(上限4 kW)
 - 太陽熱高度利用システム設置費補助金制度：1 m²あたり13,000円
 - 太陽熱温水器設置費補助金制度：1 m²あたり10,000円
- (参考：下表「太陽光・太陽熱利用機器補助金制度平成24年度申請件数」)

公共施設への新エネルギーの導入

小・中学校をはじめとした市施設への太陽光発電設備の設置を進めています。平成24年度は、志貴小学校、二本木小学校、今池小学校と、安祥福祉センターに、それぞれ20 kWの太陽光発電設備を設置しました。



(2) 家庭のごみ

① ごみ減量の推進

生ごみ処理機器購入補助金制度

生ごみ処理機器の購入に対し、補助金を交付しました。
(参考：下表「生ごみ処理機器購入補助金制度平成24年度実績」)

リサイクルステーション

古紙、古着、ペットボトル、乾電池、蛍光灯などを常時回収する場所として、市内5か所のリサイクルステーションを設置しています。12月から小型電子機器(携帯電話、携帯ゲーム機、デジタルカメラなど10品目)の回収を開始しました。



エコセンターあんじょう

御幸本町リサイクルステーションの移設に伴い、平成23年8月8日に開設しました。地球温暖化対策地域協議会エコネットあんじょうくらし部会の管理により、従来のリサイクルステーションとしての機能だけでなく、環境学習イベントを開催するほか、リユースコーナーを設置しました。

② 適正な廃棄物処理

地域クリーン推進員制度

各町内会では、地域クリーン推進員リーダー・地域クリーン推進員が設置されています。市との共催による各町内会でのごみの分別・減量説明会の開催や、不法投棄の監視や撤去、収集されなかったごみの処理などで、様々な協力をしていただきました。また、地域クリーン推進員リーダー・地域クリーン推進員同士の情報交換や知識の向上のための研修会も実施しました。

空き缶などの資源ごみの持ち去り防止

平成23年4月1日から「安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」により、ごみステーションに出された資源ごみ(缶、びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、古紙、牛乳パック、古着)を持ち去る行為を禁止しました。

太陽光・太陽熱利用機器補助金制度平成24年度申請件数

制度名	申請件数	累計
太陽光発電システム設置費	677	2,812
太陽熱高度利用システム設置費	7	53
太陽熱温水器設置費	15	27

生ごみ処理機器購入補助金制度平成24年度実績

処理機器名		補助限度額	実績
乾燥式生ごみ処理機		45,000円	122基
バイオ式生ごみ処理機		45,000円	57基
たい肥化容器	コンポスト	7,000円	74基
	密閉バケツ	7,000円	57基
減量容器		7,000円	1 基

(3) 健全な生活環境

① 良好な生活環境の形成

アダプトプログラム制度

アダプトプログラム制度とは、市民が、道路や河川などの公共施設の「里親」となり、愛情と責任をもって定期的に清掃などの美化活動を行う制度です。市では、アダプトプログラム登録者の支援として、清掃道具の無償貸与を行っています。平成24年度末現在、45の登録者が、市内各所を定期的に清掃するなど、環境美化活動を実施しています。

② 生活型公害の防止

油ヶ淵浄化デー

毎年7月の第4日曜日を「油ヶ淵浄化デー」と定め、油ヶ淵周辺や油ヶ淵に流入する河川の清掃活動を行っています。平成24年度は、東端町内会や根崎町内会、明和小学校、地元企業などの協力により、油ヶ淵と長田川、半場川の清掃活動を実施。約1300人の参加がありました。



生活排水対策モデル地区事業

毎年、一つの町内会を生活排水対策モデル地区として指定しています。平成24年度は、柿碕町内会を指定しました。学習会の開催後、1か月の実践活動を実施。また、事前・事後のアンケートを実施し、アンケートの集計結果も周知しました。

(4) 環境意識と協働

① 環境学習の推進

地球温暖化対策地域協議会エコネットあんじょうとの協働

エコネットあんじょうの自然部会、美化部会、くらし部会及び河川部会の部会ごとに、協働による、さまざまな環境学習イベント・講座を実施しました。

環境アドバイザー制度

環境に対して専門的、先進的な知識や技術を持つ人を「環境アドバイザー」として登録し、小中学校における総合学習や地域の学習会等に派遣する制度です。平成24年度末現在、42名を登録しています。
昨年度は、小学4年生の清掃施設見学(クリーンバス)での説明や、小学校や地区公民館への出張講座などの活動のほか、環境アドバイザーのためのスキルアップ講座を5回実施しました。

かがくのひろば開催

かがくのひろば(1月25日～27日、文化センター)で環境作品を展示しました。小学校127点、中学校39点の作品の中から、「かがく大賞環境賞」を3点選出。市村アイデア賞には、205点の応募がありました。

② 環境行動力の向上

秋葉いこいの広場環境学習センター「エコきち」

「エコきち」は、秋葉公園に隣接する安城市の環境学習センターです。体験プログラムやイベントを通して、身近な自然に親しんだり、環境問題を手軽に楽しく学べたりする施設です。昨年度も、環境に関する各種展示と学習講座・イベントを開催しました。

安城市こどもぐるぐるゼミナール

「ドラゴンボール」などの作者である鳥山明さん書き下ろしマンガ「おいしい島のウーさま」を題材とした環境学習テキストを作成しました。このテキストを使用した環境学習講座「安城市こどもぐるぐるゼミナール」を、市内のイベントに合わせて開催しました。



4. 地球環境



大雨による道路冠水(堀内町)

(1) 暮らしの低炭素化	(2) 産業活動の低炭素化
うちエコ診断事業(7ページ) エコタウン桜井(7ページ) 太陽光・太陽熱利用機器補助金制度(8ページ)	I S O 14001 更新審査の支援(6ページ)
(3) 交通・物流の低炭素化	(4) ごみ処理の低炭素化
あんくるバスの運行(5ページ) 自転車購入費補助金制度(5ページ)	生ごみ処理機器購入補助金制度(8ページ) リサイクルステーション(8ページ) エコセンターあんじょう(8ページ) 地域クリーン推進員制度(8ページ)

東日本大震災の影響による浜岡原子力発電所の稼働停止により、昨年度に引き続き、夏場の電力供給不足が懸念されました。一昨年のような、休日の変更など、社会生活に影響を及ぼすような取り組みには発展しませんでした。さまざまな形で節電の努力が行われました。震災から1年が経過し、節電の必要性が浸透してきました。

地球温暖化対策には、節電を含めた省エネの推進が中心となります。今回の節電・省エネの気運を一過性のものとして終わらせるのではなく、市民生活や企業活動に支障が出ない範囲で、継続的に省エネが取り組まれるよう働きかけを行っていく必要があります。

環境指標の進捗状況

環境指標 7 1人あたりの温室効果ガス排出削減量(民生部門(家庭系))

基準値(平成2年度)	現状値(平成17年度)	目標値①(平成27年度)	目標値②(平成32年度)
843kg-CO ₂	1072kg-CO ₂ (基準値比27%増)	742kg-CO ₂ (基準値比12%減)	590kg-CO ₂ (基準値比30%減)

国内クレジット制度(二酸化炭素排出削減量売却)

国内クレジット制度とは、国内クレジット認証委員会により承認された方法に基づいて温室効果ガスを削減し、その量をクレジットとして売却する制度です。

太陽光発電設備及び空調設備改修により得られた二酸化炭素排出削減量を、国内クレジット制度を活用して売却しました。これを地元の事業者が購入し、カーボン・オフセットやCSR活動に活用することで、安城市と事業者の共同による地域への環境啓発を行うことができました。

国内クレジット制度排出削減実績

排出削減事業の名称	排出削減量	売払い額
安城市内13施設の太陽光発電設備導入におけるCO ₂ 排出削減事業	262 t-CO ₂	137,550円
安城市内4施設の空調設備の更新によるCO ₂ 排出削減事業	132 t-CO ₂	66,528円
安城市内小学校(6ヶ所)の太陽光発電設備導入におけるCO ₂ 排出削減事業	95 t-CO ₂	142,500円

安城市環境マネジメントシステム部門別実行計画より

安城市役所が取り組む、安城環境マネジメントシステムで、環境基本計画を進捗管理しています。平成24年度に目標として掲げた取り組み内容から、環境基本計画に関連するものを抜粋して掲載します。

都市基盤・交通

(1) 都市と自然

① 豊かな緑の確保

施策	取り組み内容	実績	実施担当
田園風景の保全	ふれあい田んぼアートの実施支援	計画通り実施	農務課
	農地の景観環境保全活動への補助	計画通り実施	土地改良課
歴史ある緑の保全	文化財保存地区等の松くい虫駆除の実施	計画通り実施	文化財課
	松くい虫薬剤防除補助事業及び松くい虫被害木自主駆除補助事業の実施	計画通り実施	公園緑地課
	樹林保全地区、保護樹木の指定及び指定された保全地区等の保全に必要な費用の助成	計画通り実施	公園緑地課
公共用地の緑化	桜井中央公園で植樹祭の実施	計画通り実施	公園緑地課
	荒曽根公園の整備	計画通り実施	公園緑地課
民有地の緑化	生垣等設置奨励補助事業及び都市緑化推進事業の実施	計画通り実施	公園緑地課
	花壇コンクールの実施	計画通り実施	公園緑地課

② 健全な水環境の確保

施策	取り組み内容	実績	実施担当
豊富な水資源の確保	分収育林への理解を深める行事の開催(根羽村植樹祭に参加)	計画通り実施	財政課
	分収育林事業(矢作川水源の森事業)の実施	計画通り実施	財政課
水循環の維持・回復	雨水貯留浸透施設設置補助事業の啓蒙啓発活動	計画通り実施	土木課
	水田貯留事業の実施に向けて測量調査及び調整柵設置工事	計画通り実施	土木課
	根崎調整池の改造	計画通り実施	土木課
	不要浄化槽の雨水貯留施設への転用補助	計画通り実施	下水道管理課
良好な水質の維持	川と海のクリーン大作戦の展開(矢作川河川敷の清掃活動)	計画通り実施	維持管理課
	水洗便所改造資金融資斡旋制度の実施	計画通り実施	下水道管理課
	下水道事業の説明会の開催	計画通り実施	下水道管理課
	排水設備確認申請の受付	計画通り実施	下水道管理課
	老朽管等の布設替	計画通り実施	水道工務課
	合併処理浄化槽設置補助	計画通り実施	環境保全課
水に親しめる空間の形成	多自然川づくりのコンセプトによる万五郎橋の改築	計画通り実施	土木課
環境に配慮した公共工事の推進	下水道施設の整備	計画通り実施	下水道建設課

(2) 都市・交通システム

① 自動車利用からの転換

施策	取り組み内容	実績	実施担当
公共交通機関の利便性の向上	あんくるバスの利用促進	計画通り実施	都市計画課
省エネルギーの推進	運転免許証自主返納者へ2年分のあんくるバス無料乗車券を配布	目標値を未達成	市民安全課
	運転免許証自主返納者へ住民基本台帳カードを無料交付	計画通り実施	市民安全課

① 自動車利用からの転換

施策	取組み内容	実績	実施担当
自転車利用の促進	自転車ネットワークの整備(市道大東住吉線)	計画通り実施	土木課
	レンタサイクルの利用促進	計画通り実施	都市計画課
	自転車関連イベントでの自転車利用を P R	計画通り実施	都市計画課
	自転車イベント「ツールドじゃんだら輪」の開催	計画通り実施	環境首都推進課

② 環境負荷の少ない都市づくり

施策	取組み内容	実績	実施担当
交通の円滑化	都市計画道路の整備	計画通り実施	都市計画課
	市道緑箕輪 2 号線の道路改良	計画通り実施	土木課
環境に配慮した公共工事の推進	南明治第一土地区画整理事業	計画通り実施	南明治整備課
	住宅市街地総合整備事業	計画通り実施	南明治整備課
	南明治第二土地区画整理事業	計画通り実施	南明治整備課
	市民協働によるまちづくり協議会への支援	計画通り実施	南明治整備課
	桜井 2 号調整池の整備	計画通り実施	区画整理課
	桜井 2 号駅前広場の整備	計画通り実施	区画整理課

農業・産業

(1) 農業

① 農と環境との調和

施策	取組み内容	実績	実施担当
持続可能な農業の推進	化学肥料、農薬販売量調査	計画通り実施	農務課
	J A まつり開催時に適正農薬の使用を P R	計画通り実施	農務課
農あるくらしの普及	野菜作り講座の開催	計画通り実施	農務課
地産地消・旬産旬消の推奨	食育推進啓発活動の実施	計画通り実施	農務課
	学校給食での地元農産物の購入促進	計画通り実施	農務課

(2) 産業活動

① 事業者の取組み支援

施策	取組み内容	実績	実施担当
省資源・廃棄物削減・リサイクルの推進	ISO14001 更新支援事業の実施	計画通り実施	商工課

② 公害の防止と廃棄物の減量

施策	取組み内容	実績	実施担当
省資源・廃棄物削減・リサイクルの推進	事業所に対する環境保全講習会の実施	計画通り実施	環境保全課
大気汚染の防止			
水質汚濁の防止			
騒音・振動・悪臭の防止			
土壌・地下水汚染の防止			
有害化学物質などの対策			

ライフスタイル

(1) くらしの省エネルギー

① 家庭における省エネ行動の促進

施策	取組み内容	実績	実施担当
省エネルギー家電製品などへの買い替え促進	うちエコ診断事業の実施	計画通り実施	環境首都推進課

② 移動における省エネルギー行動

施策	取組み内容	実績	実施担当
省エネルギーの推進	四季の交通安全運動におけるエコドライブの普及にむけた啓発活動の推進	計画通り実施	市民安全課
	イベントにおけるエコドライブステッカーの配布	計画通り実施	市民安全課

③ 建築物の省エネルギー化の促進

施策	取組み内容	実績	実施担当
省エネルギーの推進	環境共生型仮移転住宅の体験	計画通り実施	区画整理課

④ 新エネルギーの利用

施策	取組み内容	実績	実施担当
新エネルギーシステムの導入	太陽光発電設備を設置(志貴・二本木・今池小学校)	計画通り実施	建築課
	住宅用太陽光発電システム設置費補助金制度の促進	計画通り実施	環境首都推進課
	町内公民館への太陽光発電設備設置に対する助成	計画通り実施	市民協働課

(2) 家庭のごみ

① ごみ減量の推進

施策	取組み内容	実績	実施担当
省資源・廃棄物削減・リサイクルの推進	自主防災訓練時にごみ減量の推進を P R	計画通り実施	防災危機管理課
ごみ減量行動の促進	生ごみ処理機購入補助	計画通り実施	ごみ減量推進室
再利用・再生利用の促進	放置自転車対策事業の P R	計画通り実施	維持管理課
	七夕まつりに使用した竹を再利用	計画通り実施	商工課
	古紙類の回収	計画通り実施	ごみ減量推進室
	古着の回収	計画通り実施	ごみ減量推進室
	再生家具入札販売	計画通り実施	ごみ減量推進室
	し尿処理施設放流水の利用	計画通り実施	環境保全課
	溶融スラグの資源活用	計画通り実施	環境保全課
ごみ減量意識の向上	4 R・分別の推進、効果的運動の検討	計画通り実施	ごみ減量推進室
	有価物回収地区報奨金事業の実施	計画通り実施	ごみ減量推進室
ごみ減量行動の促進	安城市資源事業推進報奨金事業の実施	計画通り実施	ごみ減量推進室
	ペットボトル・乾電池回収推進報奨金事業の実施	計画通り実施	ごみ減量推進室
	E M ばかし配布	計画通り実施	ごみ減量推進室

② 適正な廃棄物処理

施策	取組み内容	実績	実施担当
適正で効率的なごみ処理の推進	ごみ収集作業手順書の遵守	計画通り実施	環境保全課
	融解スラグを年間 500t 以上活用	計画通り実施	環境保全課
不法投棄の対策	家電リサイクル法対象品目の不法投棄の抑制	計画通り実施	環境保全課
適正な分別の徹底	ごみの分別収集の推進	計画通り実施	商工課

